

西湘ウォーキング⑫ 鷹取山 大磯駅～秦野駅

日 時：2022年3月26日（土） 天候：曇のち小雨 気温：20.8℃ 歩数：34000歩
距離：約21km

コース：大磯駅→JR東海道線沿いの道→（関東ふれあいの道⑦大磯・高麗山のみち）→城山公園前バス停
→国道1号→月京バス停→（関東ふれあいの道⑧鷹取山・里のみち）→巖島神社→鷹取神社→
鷹取山（標高219m）→展望休憩所→土屋銭洗辯財天→熊野神社→南平橋バス停→中里橋→
はだの桜みち→今泉名水桜公園→小田急秦野駅

新型コロナウイルス新感染者数 全国47329人 東京7440人 神奈川4848人 平塚66人

西湘ウォーキング12回目は「鷹取山 大磯駅～秦野駅」、3月26日に歩きました。コースは大きく分けて3つ。1つ目は大磯駅からJR東海道線沿いの道を西へ進み「関東ふれあいの道⑦大磯・高麗山のみち」に出て終点の城山公園バス停へ。2つ目は月京バス停から「関東ふれあいの道⑧鷹取山・里のみち」を北上して終点の南平橋バス停へ。3つ目は西方向の秦野市街地をめざして秦野駅までのコースです。

写真は鷹取山山頂にある鷹取神社。鷹取山は標高219mの低山ですが山道に入ってからかなり急峻な上り道、極めつけが神社直下の石段参道。鷹取山という名の山は数多くありますが、大磯の鷹取山は、徳川家康が鷹狩りに出かけて鷹を放したところ、この山で獲物を取り押さえたので名付けたという伝説が残っています。

この日の新型コロナウイルス新感染者、全国は4万7329人で1週間前より約2600人増、土曜日比較で2月26日以降続いて来た減少が増加に転じました。入院中や療養中の方は41万人で約9万人減、重傷者は707人で276人減。死者は101人で3人減。東京の新感染者は7440人で1週間前より4人減、神奈川は4848人で578人増、平塚市は66人でした。入院中や療養中の人などは引き続き減少傾向ですが、新感染者数が緩やかな減少傾向から微増になり、第7波の到来が懸念されます。政府は、東京や神奈川など18都道府県に3月21日まで適用していたまん延防止等重点措置を解除しました。これにより1月8日以来、全ての都道府県でまん延防止等重点措置の適用がなくなりました。



大磯駅～関東ふれあいの道⑦大磯・高麗山のみち～城山公園前バス停

大磯駅を9時にスタート、曇り、天気予報は曇りのち雨。JR東海道線沿いの道を西へ進み地下道のところで「関東ふれあいの道⑦大磯・高麗山のみち」に出ました。ここから少し南方面へ、旧東海道松並木が残る国道1号の歩道橋を渡り、大磯こゆるぎの浜へ。太平洋岸自転車道にもなっている西湘バイパス沿いの道を西へ、海からの南風が心地よく感じます。曇り空で視界はあまりよくなく大島は見え、前方の箱根の山が霞んでいます。自転車道を下りて国道1号へ、県立大磯城山公園一角の旧吉田邸地区門前を通り9時50分、ふれあいの道⑦コース終点の城山公園前バス停に着きました。起点は平塚市の西海岸バス停です。



月京バス停～関東ふれあいの道⑧鷹取山・里のみち～鷹取神社～鷹取山

城山公園前バス停から国道1号を西へ、国府新宿交差点を右折して県道63号に入り北へ進みます。月京(がっきょう)バス停へ、ここが「関東ふれあいの道⑧鷹取山・里のみち」の起点、終点の南平橋バス停まで8.9km、鷹取山までは3.1km。道端にホトケノザや菜の花が咲いていました。不動川沿いを上流に進み巖島神社で水分補給。小田原厚木道路の下を通り山道へ入ります。次第に急峻な上りになり、低山といえども中々手強いと思いました。11時50分、鷹取神社へ到着。ここが山頂かと思いきや山頂標識はなく「月京バス停まで3km」の標識、ということは100m先が山頂。進んで行くと三角点が、そこが山頂でした。



鷹取山～展望休憩所～土屋銭洗辯財天～熊野神社～南平橋バス停

11時55分、鷹取山山頂から下山開始。ここからはふれあいの道後半、里山歩きで平地の南平橋をめざして北へ進みます。15分ほど下ると平塚市、分岐があり右へ行くと1週間前に歩いた「霧降の滝・松岩寺」方面、直進して銭洗辯財天方面へ。左は広大なゴルフ場、南風が強くなり後ろから押してくれました。畑の片隅にはつくしが出て、タンポポが咲いています。ふれあいの道展望広場のベンチで昼食、時刻は12時40分、大山や権現山の展望台が見えました。土屋銭洗辯財天に立ち寄り神奈川大学キャンパス前を通過。県道73号の交差点を渡り道なりに進んで行きましたが、めざす土屋氏館跡が見えてきません。遠藤原バス停に出て道間違いに気づきました。土屋氏館跡見学は断念して熊野神社へ、1kmほど迂回、小雨がパラツキ始めました。水分補給して住宅街を歩き秦野市へ入り、14時35分に南平橋まで下りてきました。



南平橋バス停～中里橋～丘陵地帯～菜の花畑と乳牛～はだの桜みち

南平橋から金目川の上流へ歩き、中里橋を渡り西方向の丘陵地帯へ上って行きます。菜の花畑越しの乳牛をパチリ、長閑な風景が広がっています。ときおり小雨がパラつく中1時間ほど歩くと市街地に入り西大竹交差点へ、ここから新橋交差点まで6.2kmが「はだの桜みち」。満開の桜のアーチが続いていました。



はだの桜みち～今泉名水桜公園～小田急秦野駅 3万4000歩 21km

はだの桜みちから閑静な今泉名水桜公園へ。湧水池を囲む遊歩道にソメイヨシノ、カンザクラ、シダレサクラなどが咲き誇っていました。鮮やかなカンザクラに湧水池の水面と大岳院の鐘楼、一幅の絵のようです。公園を出ると雨が本降りになり、16時30分に小田急秦野駅へ到着。歩数3万4000歩、距離21km、春満喫の地山独歩でした。駅1階の土産物センターで落花生最中と日本酒「弘法山」を購入して帰途に着きました。



西湘ウォーキング地山独歩 12回 総歩数 29万7195歩 総距離 182.5km

コロナ禍、1月10日から始めた西湘ウォーキング、毎週歩いて12回。総歩数29万7195歩、総距離182.5km。歳をとったら「キョウヨウ」と「キョウイク」が大事だといわれています。3月21日をもってまん延防止等重点措置が解除、日常が戻りつつあり「今日用事があり今日行くところ」が多くなりましたので、西湘ウォーキング、これにて一旦締めることにします。小田急沿線以南、東西は平塚西部から酒匂川間の低山をひとつ入れての地山独歩。吉野さん、常盤さん、高橋さん、河野さんリーダーのコースに一生懸命ついて歩いたのを思い出しながら新しい道発見の楽しいウォーキングでした。(いちむら記)